

◆◆ 平成 28 年度 世界農業遺産「先進地視察研修会」の御案内 ◆◆

このたびは、「琵琶湖と共生する滋賀の農林水産業推進協議会」設立準備会に御入会いただき、ありがとうございました。

会員の皆様には、今後とも「世界農業遺産」の認定に向けて、御支援・御協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。

今回、会員の皆様と共に国内で先に認定を受けている地域を視察し、認定に向けての取組や認定後の活用などを学びたいと考えており、下記の視察研修会を計画いたしましたので、御案内いたします。

なお、バス乗車定員の関係で、参加者を 40 名とさせていただきます。

申込多数の場合は抽選とさせていただきますので、その旨御理解いただきますようお願いいたします。

1. 日 時：12 月 19 日（月）
2. 視 察 先：和歌山県みなべ町・田辺市 「みなべ・田辺の梅システム」（2015 年、12 月認定）
3. 行 程（案）：（詳細については後日御連絡いたします）

7：45	県庁集合
8：00	出 発
11:00～12:00	うめ振興館（みなべ町）
12:15～13:00	国民宿舎紀州路みなべ（みなべ町） 昼食
13:30～14:10	紀州石神田辺梅林（田辺市）
14:25～15:10	紀州備長炭記念公園（田辺市）
15:40～16:00	J A 紀南ファーマーズマーケット紀菜柑（トレ休憩など）（田辺市）
18:00	県庁 解散
4. 定 員：40 名
5. 参 加 費：昼食代（1,000 円～1,200 円程度）当日集金いたします。
6. 申 込 方 法：別紙申込書に御記入のうえ、FAX、メールで下記申込先まで。
7. 申 込 先：滋賀県農政水産部農政課世界農業遺産推進係
〒520-8577 滋賀県大津市京町四丁目 1-1
TEL：077-528-3825
FAX：077-528-4880
E-mail：shiga-giahs@pref.shiga.lg.jp
8. 申 込 期 日：~~12 月 5 日（月）必着（厳守）~~ → 12 月 9 日（金）まで延長します（先着順）
9. そ の 他：当選者には、電話・メールにて後日御連絡いたします。

◆視察先の御紹介◆

1. うめ振興館 (みなべ町 HP より転記)

『うめ振興館』は、その日本一の梅の町を、全国に情報発信する拠点施設。

「うめ 21 研究センター」と合わせ、生産から P R まで、日本一の梅産地の中心施設。



1階 歴史ゾーン

「梅」と「旧南部川村」を歴史的な解析で展示。

2階 梅資料ゾーン

梅林大型パノラマ模型などメインフロア。

3階 道の駅みなべ川 (物産コーナーほか)

2. 紀州石神田辺梅林 (田辺市 田辺観光協会 HP より転記)



紀州石神田辺梅林は、梅の産地・田辺市を代表する梅林で、その広大な梅畑は「一目 30 万本」と謳われます。梅林としては近畿屈指の標高 (約 300m) を誇り、そこからすり鉢状に梅畑と里山を臨むロケーションが当梅林最大の魅力です。(残念ながら今回は梅の開花時期ではありません)

3. 紀州備長炭記念公園 (田辺市 HP より転記)

誕生まもなく、炭焼き技術の流出が固く禁じられてきた紀州備長炭。その由来や変遷について解明されない部分をたくさん残しながらも備長炭は脈々と焼きつがれています。

木炭が長い間人類の生活と密接な関係にあったにも関わらず、備長炭に限らず木炭の技術や歴史についての資料は極端に少ないといえます。それは、木炭があまりにわたしたちに身近すぎたからかもしれません。

本施設では、木炭の歴史や文化あるいは種類・用途などをわかりやすく解説。また、公園内にある炭窯では備長炭の製炭が実際に見られ、一層木炭への理解を深めることができます。

4. J A 紀南ファーマーズマーケット紀菜柑 (J A 紀南 ファーマーズマーケット HP より転記)



紀南地方のファーマーズマーケットでは最大級。

J A 紀南の「地産地消」の拠点施設。

送付先 : E-mail : shiga-giahs@pref.shiga.lg.jp

FAX : 077-528-4880

締切 : ~~12月5日(月)~~ → 12月9日(金)まで延長

滋賀県農政課世界農業遺産推進係 行

参加申込書

(12月19日開催 世界農業遺産「先進地視察研修会」)

氏名	
住所	
電話	
携帯	
FAX	
メールアドレス	